

平成26年度（第35回）原子力災害対策本部会議・
（第4回）原子力防災会議 合同会議
議事要旨

1. 開催要領

開催日時：平成26年9月12日（金）10：20～10：40

場 所：官邸4階大会議室

出席者：別紙のとおり

2. 議事次第

（審議事項）

議題1. 福島県川内村における避難指示区域の解除等について（案）

（報告事項）

議題2. 「『原子力災害からの福島復興の加速に向けて』の進捗」について

議題3. 鹿児島県川内地域の緊急時対応の確認結果について

議題4. 平成26年度原子力総合防災訓練の実施について

3. 配布資料

資料1 川内村における避難指示区域の解除等について（案）

資料2 「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」の進捗

資料3-1 川内地域の緊急時対応（概要）

資料3-2 川内地域の緊急時対応（全体版）

資料4 平成26年度原子力総合防災訓練の実施について

参考資料1 関係市町村の地域防災計画・避難計画の策定状況

参考資料2 原子力災害対策指針・防災基本計画要求内容への対応状況

参考資料3 平成26年度原子力総合防災訓練計画

参考資料4 原子力災害対策本部 構成員

4. 会議概要

（1）議題

（議題1）

- ・ 小渕経済産業大臣から、資料1に基づき、川内村における避難指示区域の解除等について（案）について説明。
- ・ 川内村における避難指示区域の解除等を資料1のとおりとすることで決定。

（議題2）

- ・ 小渕経済産業大臣から、資料2に基づき、「原子力災害からの福島復興

の加速に向けて」の進捗について報告。

(議題 3)

- ・ 望月原子力防災担当大臣から、資料 3 - 1 及び資料 3 - 2 に基づき、川内地域の緊急時対応について報告。
- ・ 詳細については、平井内閣府大臣官房原子力災害対策担当室長から報告。

(議題 4)

- ・ 小里原子力防災担当副大臣から、資料 4 に基づき、平成 26 年度原子力総合防災訓練の実施について報告。

(2) 質疑応答・意見の概要

- 議題 1 及び議題 2 の説明を受けて、望月環境大臣から次のとおり発言があった。
 - ・ 環境省では、放射性物質汚染対処特別措置法に基づき、福島県をはじめとする被災地における除染等の措置等を実施している。最近では、国直轄の除染のうち、夏までに予定していた葛尾村及び川俣町における宅地除染の作業が終了し、帰還困難区域内の国道 6 号についても除染が終了するなど、着実な進捗を示しているところ。
 - ・ また、福島を除染・復興を進める上で必要不可欠な中間貯蔵施設について、9 月 1 日に佐藤福島県知事より建設受入れを容認する旨、大熊・双葉の両町長より知事の判断を重く受け止め、地権者への説明を了承する旨の判断を頂いたところ。
 - ・ 今後、臨時国会にも中間貯蔵施設の整備に向けた所要の法案を提出するとともに、地権者の皆様に丁寧の説明し御理解を得ながら、中間貯蔵施設の整備に向け全力を尽くしてまいりたい。
- また、議題 3 の報告の後、望月原子力防災担当大臣から次のとおり発言があった。
 - ・ 今回の緊急時対応のとりまとめに当たり、関係省庁には、様々なご協力をいただいた。御礼を申し上げます。
 - ・ 今後、鹿児島県川内地域以外の地域についても同様の取組を進めてまいるので、引き続き、よろしく願います。
 - ・ 特に、自衛隊を始めとする実動組織の活動には、自治体から強い期待が寄せられているので、防衛省、警察庁、国土交通省・海上保安庁、消防庁には、万が一の場合の対応について、よろしく願います。

(3) 閉会

最後に、安倍内閣総理大臣より挨拶。要旨は次のとおり。

- 川内村の避難指示解除を決定した。これにより、いよいよ10月から、住民の帰還が始まる。しかしながら、避難指示解除はゴールではなく復興に向けた出発点。解除後も、一層強力に支援していく。
- 檜葉町をはじめ、他の市町村でも避難指示解除を進められるよう、関係大臣はよく連携し、対策を強化して頂きたい。
- 併せて、被災地域の希望と自立のため、「イノベーションコースト構想」の具体化や、地域の将来像の策定を政府一体となって進めていく。
- 川内地域の避難計画を含めた緊急時対応について、「具体的かつ合理的なものとなっていること」を、県と関係市町、関係省庁が参加したワーキングチームで確認し、これを了承した。
- 現地の皆様の理解を得られるよう、関係省庁、関係機関は、丁寧な説明に努めるとともに、今後も実効性の向上、一層の改善、充実に取り組んで頂きたい。
- その他の地域についても同様の取組を進めるべく、政府をあげて自治体を全面的に支援していく。あわせて、早急に政府の原子力防災体制を充実・強化していかなければならない。望月大臣はしっかり進めて頂きたい。
- 震災の教訓を忘れず、かつ、未来を見据えながら、全力で取り組んで頂くよう、よろしく願います。

(以 上)

出席者一覧

安倍 晋三	内閣総理大臣
高市 早苗	総務大臣
松島 みどり	法務大臣
岸田 文雄	外務大臣
塩崎 恭久	厚生労働大臣
西川 公也	農林水産大臣
小渕 優子	経済産業大臣 産業競争力担当 原子力経済被害担当 内閣府特命担当大臣(原子力損害賠償・廃炉等支援機構)
太田 昭宏	国土交通大臣 水循環政策担当
望月 義夫	環境大臣 内閣府特命担当大臣(原子力防災)
江渡 聡徳	防衛大臣 安全保障法制担当
菅 義偉	内閣官房長官 沖縄基地負担軽減担当
竹下 亘	復興大臣 福島原発事故再生総括担当
山口 俊一	内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策 科学技術政策 宇宙政策) 情報通信技術(IT)政策担当 再チャレンジ担当 クールジャパン戦略担当
有村 治子	女性活躍担当 行政改革担当 国家公務員制度担当 内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全 規制改革 少子化対策 男女共同参画)
甘利 明	経済再生担当 社会保障・税一体改革担当 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

石破	茂	地方創生担当 内閣府特命担当大臣（国家戦略特別区域）
赤澤	亮正	内閣府副大臣
宮下	一郎	財務副大臣
藤井	基之	文部科学副大臣
高木	陽介	經濟産業副大臣 兼内閣府副大臣
小里	泰弘	環境副大臣 兼内閣府副大臣
福山	守	環境大臣政務官 兼内閣府大臣政務官
加藤	勝信	内閣官房副長官
世耕	弘成	内閣官房副長官
杉田	和博	内閣官房副長官
横畠	裕介	内閣法制局長官
西村	泰彦	内閣危機管理監
田中	俊一	原子力規制委員会委員長
金高	雅仁	警察庁次長
平井	興宣	内閣府大臣官房原子力災害対策担当室長